

各 位

2026年2月26日  
株式会社インプレス

実務で役立つ「データモデリング」や「DAX 関数」の解説を大幅強化！  
データ分析の「操作」と「考え方」がこれ一冊で身に付く  
『できる Power BI 改訂版』を2月26日に発売

インプレスグループで IT 関連メディア事業を展開する株式会社インプレス（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：高橋隆志）は、マイクロソフトの BI ツール「Power BI」の活用ノウハウを体系的に解説した新刊『できる Power BI データ集計・分析・可視化ノウハウが身に付く本 改訂版』を2026年2月26日（木）に発売いたします。



■データ分析の「操作」だけでなく「考え方」まで身に付く入門書の決定版

本書は、2019年の刊行以来、多くのビジネスパーソンにご支持いただいた『できる Power BI』を、最新の機能や利用環境に合わせて全面的に見直し、再構成した改訂版です。日々蓄積される膨大なデータを効率的に収集・整理・分析し、ビジネスの意思決定に役立てる「BI（ビジネス・インテリジェンス）」のスキルは、今や多くの職種で求められています。本書では、マイクロソフトの「Power BI」を使い、専門知識がなくても誰でもデータを扱えるようになるためのノウハウを解説します。

■読者の要望に応え、実務直結の「データモデリング」と「DAX 関数」を大幅強化

今回の改訂では、読者の皆様からご要望が多かった「データモデリング」と「DAX 関数」の解説を大幅に強化しました。本書は「基本編」と「活用編」の2部構成となっており、基礎から応用まで段階的にスキルを習得できます。

・基本編（第1章～第5章）：データの取り込みから加工（Power Query）、そしてグラフによる可視化まで、レポート作成の基本フローを丁寧に解説します。

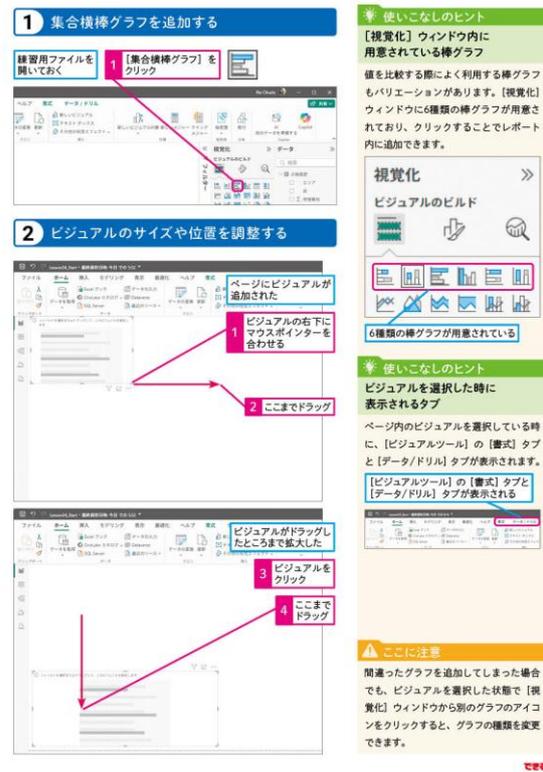
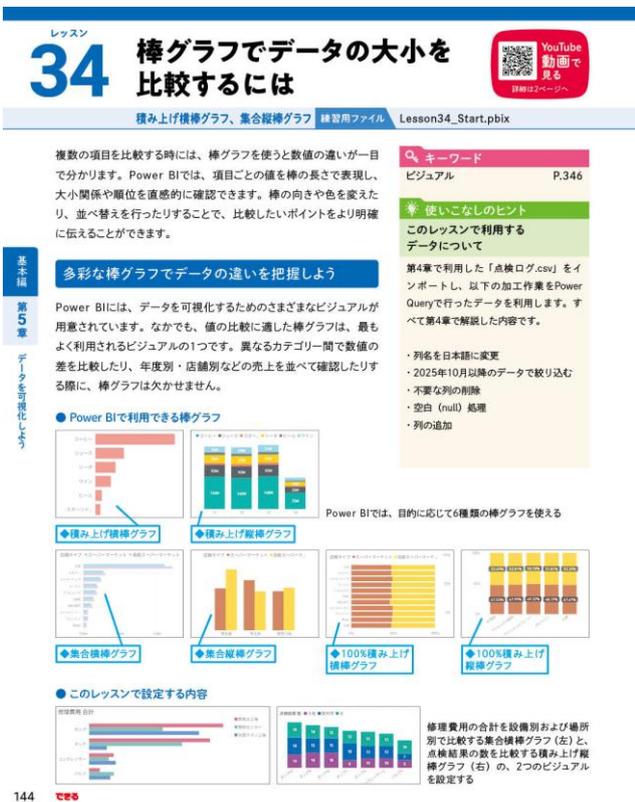
・活用編（第6章～第9章）：複数のデータを紐づけるリレーションシップの設定や、前年比・累計などを算出するDAX関数、レポートの組織内での共有・自動更新など、実務で直面する課題を解決するための高度なテクニックを掘り下げます。

単なる操作手順の羅列ではなく、「なぜその設定が必要なのか」「どう活用すればよいのか」といった“考え方”も重視しており、現場で応用できる確かな力が身に付きます。

■本書は以下のような方におすすめです

- ・ Power BI を初めて利用するビジネスユーザー
- ・ Excel でのデータ集計・分析からステップアップしたい方
- ・ 操作はできても、分析ツールとしてどう活用すればよいか悩んでいる方
- ・ 作成したレポートを組織内で効果的に共有・活用したい方

■紙面イメージ



豊富な画面写真と大きな文字で、データの取り込みから加工、可視化までの手順をステップバイステップで解説しています

# 51 メジャーを理解しよう

メジャー

練習用ファイル Lesson51\_Start.pbix

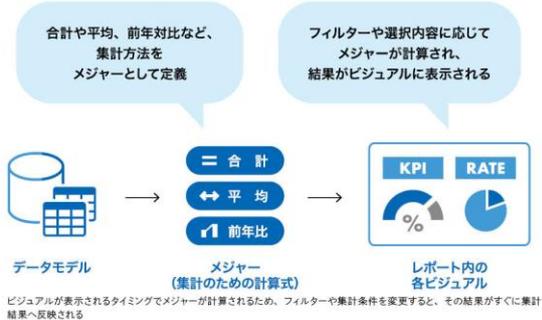
レポートを作成する際には、合計値や平均値といった集計結果を、ビジュアルを通じて分かりやすく表示することが重要です。Power BIでは、集計方法をあらかじめ定義しておくことで、必要な集計結果をレポート上に表示できます。

| キーワード  |       |
|--------|-------|
| データモデル | P.346 |
| ビジュアル  | P.346 |
| メジャー   | P.347 |

## メジャーとは

分析時に確認したい値は、集計結果としてグラフや表などのビジュアルに表示します。列の合計や平均、最大値、最小値、カウント（個数）など、さまざまな集計方法を利用できますが、これらの集計方法を定義したものを「メジャー」と呼びます。メジャーはDAX関数を用いた数式として作成され、ビジュアルが表示されるタイミングで計算が実行されます。さらに、レポート上でフィルターを変更したり、ドリルダウンやドリルアップを行った際にも、その状況に応じて動的に再計算され、最新の集計結果がビジュアルに反映されます。

### ● 集計結果がビジュアルに反映される流れ



## スキルアップ

### 計算列とメジャーの違いを確認しよう

計算列とメジャーは、どちらもDAX関数を使って値を定義するもので、値そのものを保持する列は作成されませんが、作成される場所や役割が異なります。計算列はデータモデル内のテーブルに追加され、行ごとに計算された値がデータとして保持されます。一方、メジャーは集計方法を定義するもので、値そのものを保持する列は作成されませんが、作成される場所や役割が異なります。この違いを理解しておくことで、分析の目的に応じて、どちらを使うべきかを判断しやすくなります。



メジャーは、ビジュアルが表示されるタイミングで計算が実行され、レポート上のフィルターやスライサー、ドリル操作に応じて結果が動的に変化する。そのため、同じメジャーでも、表示する条件によって異なる集計結果を得ることができる。計算列とメジャーの特性を正しく使い分けることで、柔軟で分かりやすい分析レポートを作成できる

### ● 計算列とメジャーの違い

| 項目    | 計算列   | メジャー   |
|-------|---|--|
| 役割    | <ul style="list-style-type: none"> <li>データモデルのテーブルに新しい列として追加され、行単位の計算結果を保持する</li> <li>保持された値は、軸として利用したり、後続の計算に再利用できる</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>ビジュアルが表示されるタイミングで計算が実行される</li> <li>動的な集計・フィルターやスライサーの操作に応じて集計結果が変化し、最新の値を表示できる</li> </ul> |
| 結果の出力 | 列として保持（各行に固定値）  | 値として出力（固定の列を持たない）  |
| 主な用途  | <ul style="list-style-type: none"> <li>小計や利益など、分析の前提となる値をあらかじめ列として持たせたい場合</li> <li>分類や文字列の結合など、行ごとに確定した値が必要な場合</li> </ul>       | <ul style="list-style-type: none"> <li>合計、平均、最大値などの集計をビジュアルで扱いたい場合</li> <li>動的に変わる計算結果を表示したい場合（達成率、前年同月比、累計など）</li> </ul>        |

### 意識せずに利用しているメジャー

列値の合計や平均、最大値、最小値といった集計結果を得るための定義（数式）をメジャーと呼びますが、これまで設定してきたビジュアルでは、メジャーを作成しなくても自動的に集計結果が表示されていました。これは、ビジュアルに指定された列が内部で自動的に集計される仕組みがあるためです。この自動的に行われる集計を「暗黙的なメジャー」と呼び、ビジュアルに列を配置するだけで基本的な集計が行えます。

Power BIで思い通りの分析を行うために欠かせない、集計ルールを定義する数式「メジャー」ほか、DAX関数の使い方が身に付きます

## ■本書の構成

### <基本編>

- 第1章 Power BI の概要を知ろう
- 第2章 利用するための準備をしよう
- 第3章 Power BI レポートの使い方を知ろう
- 第4章 データの取得や加工方法を知ろう
- 第5章 データを可視化しよう

### <活用編>

- 第6章 データモデルを構築しよう
- 第7章 DAX 関数を活用して分析しよう
- 第8章 レポートを仕上げるテクニックを知ろう
- 第9章 組織内で活用しよう

## ■書誌情報



書名：できる Power BI データ集計・分析・可視化ノウハウが身に付く本 改訂版

著者：奥田理恵& できるシリーズ編集部

発売日：2026年2月26日（木）

ページ数：352 ページ

サイズ：B5 変形判

定価：2,750 円（本体 2,500 円＋税 10%）

電子版価格：2,750 円（本体 2,500 円＋税 10%）※インプレス直販価格

ISBN：978-4-295-02355-5

◇Amazon の書籍情報ページ：<https://www.amazon.co.jp/dp/4295023558>

◇インプレスの書籍情報ページ：<https://book.impress.co.jp/books/1125101107>

## ■著者プロフィール

奥田理恵（おくだりえ）

株式会社イルミネート・ジャパンにて、マイクロソフトのクラウドサービスを中心とした技術者向けトレーニング、サンプル開発/技術支援/活用コンサルティングサービスの提供を行っている。また同社の公式ブログ「イルミネート・ジャパングログ」にて、Microsoft 365 関連の技術情報を発信中。各種カンファレンス、イベント、セミナーでの講演多数。マイクロソフト製品やテクノロジーに関する豊富な知識と経験を持っていることについて、Microsoft MVP の受賞歴あり。

以上

---

【株式会社インプレス】 <https://www.impress.co.jp/>

シリーズ累計 8,000 万部突破のパソコン解説書「できる」シリーズ、「デジタルカメラマガジン」等の定期雑誌、IT 関連の専門メディアとして国内最大級のアクセスを誇るデジタル総合ニュースサービス「Impress Watch シリーズ」等のコンシューマ向けメディア、「IT Leaders」をはじめとする企業向け IT 関連メディアなどを総合的に展開・運営する事業会社です。IT 関連出版メディア事業、およびデジタルメディア&サービス事業を幅広く展開しています。

【インプレスグループ】 <https://www.impressholdings.com/>

株式会社インプレスホールディングス（本社：東京都千代田区、代表取締役：塚本由紀）を持株会社とするメディアグループ。「IT」「音楽」「デザイン」「山岳・自然」「航空・鉄道」「モバイルサービス」「学術・理工学」を主要テーマに専門性の高いメディア&サービスおよびソリューション事業を展開しています。さらに、コンテンツビジネスのプラットフォーム開発・運営も手がけています。

【本件に関するお問合せ先】

株式会社インプレス 広報担当：丸山

E-mail: [pr-info@impress.co.jp](mailto:pr-info@impress.co.jp) URL: <https://www.impress.co.jp/>

※弊社はテレワーク推奨中のため電話でのお問い合わせを停止しております。メールまたは Web サイトからお問い合わせください。